



平成30年 3月23日 文責 石丸 慎也

窓あけて 窓いっぱい春（山頭火）

最上級生として川上小学校を力強く牽引してきた6年生が卒業して一週間がたちました。リーダーのバトンはしっかりと5年生に引き継がれています。卒業式前の準備や事後の片付け、そして毎日の掃除や委員会活動においてリーダーとしての強い意識の表れを感じています。

さて、子ども達は今日で平成29年度の学びを終えます。どの学年の子ども達もそれぞれの活躍の舞台において確かな足跡を残してきました。1年生は2年生の、5年生は6年生の逞しさが、その表情や行動に顔を出し始めています。平成30年度がまた楽しみになってきました。

種田山頭火の作品に「窓あけて窓いっぱいの春」があります。卒業する前、6年生に「目を閉じてこの作品を聞いてみてください。何が見え、どんなことを感じましたか」と問いかけてみました。すると「桜の前に人がたくさんいます」「菜の花が見えます」「風が吹いているのを感じます」などの答えが返ってきました。なんとすばらしい感性でしょう。子ども達の目の前にはもう「春」がやってきているのです。4月には子ども達はそれぞれ一学年ずつ進級します。子ども達ひとりひとりに素晴らしい「春」がやってきますように。

紹介します「食育標語コンクール」

以前、佐賀新聞社主催の「家族だんらん食育標語コンクール」に、川上小学校からも応募をしていました。その結果、3人の子ども達の作品が入賞しました。3人の作品を味わって読むと、ほっとするのを感じます。紹介します。

最優秀賞 1年 許 琴羽さん

きかせてよ きょうのできごと たべながら

佳作 3年 久米優佑さん

ごはんつぶ 一つぶ 一つぶ かみさまだ

佳作 6年 中島愛唯さん

泣いてるよ お皿の上の 食べ残し

なお、これらの作品は3月16日の佐賀新聞に大きくページをさいて写真付きで掲載されています。これからさらに大きく伸びてほしいと思います。おめでとう！

たくさんのお花 ありがとうございました！

先週の卒業証書授与式には地域の方々にたくさんお出でいただき、感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

また卒業式当日に飾る花を、卒業式前日までにたくさんお持ちいただき、ありがとうございました。地域の方々や保護者の皆様から頂いたお花は、すべて卒業式で使用する



部屋等に飾らせていただきました。写真はほんの一例です。卒業していった6年生を祝福していたように感じました。

学校行事があるたびに思うのは、いつも地域の方々が力を貸してくださるということです。支援、応援、協力、協働、連携など、どれも川上小学校にはふさわしい言葉ばかりです。その背景には、学校に対する温かい思いがあります。このような地域で学び、生活ができる子ども達は幸せだと思います。子ども達もまた、大人の方々からの応援を肌で感じています。

今後も川上小学校の子ども達をよろしくお願いします。



感謝状をいただきました！



「ペットボトルキャップで世界の子どもにワクチンを届けようキャンペーン」で川上小学校が感謝状をいただきました。

これはボランティア委員会の子ども達の呼びかけで、全校的に取り組んだものです。その結果、39.7 キログラムのキャップを回収することができました。これは約 10 人分のポリオワクチンに相当します。ご存じのようにポリオは乳幼児がかかりやすい病気で、人から人へ感染します。世界の子ども達の健康を守るために川上小の子ども達の活動がその一助となったことは、本当に意義のあることだと思います。今後も続けていきたいものです。



校長室から

毎年この時期、思うことがある。

“ すべての花は咲きそろったか ”

320人の子ども全員がひとりひとりの花を咲かせる。学校として果たさなければならない使命だ。

子ども達にはこの1年の自分をしっかりとふり返ってほしい。

咲く花の種類、咲く花の色、咲く大きさはそれぞれでかまわない。